

平成22年度

戦略的産地振興支援事業(実需者連携産地高度化調査)



*Byoubuzan*  
つがる市 屏風山地区

戦略的農業の推進による

地域農業の振興と農産物供給力の強化に向けて

- 産地の高度化のための整備計画 -

*Oninara*

弘前市 鬼檜地区

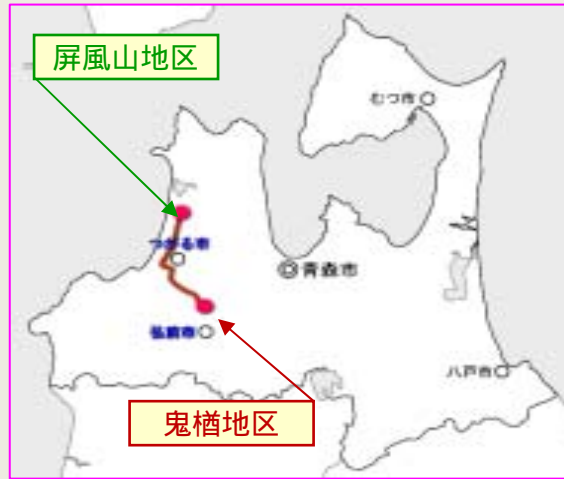


本当に旨い、屏風山野菜を全国に発信  
屏風山地区(青森県つがる市車力町)



**屏風山地区の概要**

**地区範囲** つがる市車力町一円  
**作付面積** 620ha  
**主な農産物** ながいも、にんにく、ねぎ、ごぼう  
**営農形態** 畑地かんがい施設整備による、大規模畑作経営  
**地区の特色** 特異な土壌(砂質・粘土質)による、課題(排水不良等)と優位性(旨味の向上効果)の混在



屏風山地区と鬼楢地区

両地区は同じ津軽地方に位置する農業地帯ですが、屏風山地区は畑地かんがいを活用した畑作営農、鬼楢地区は水田と果樹園の複合経営を行っています。

青森県を代表する産地間の距離は約40km。津軽地方の風景を楽しみながら、異なるふたつの営農環境が育んだ農産物を、味わってみませんか。

屏風山地区

十三湖の南方に位置し、真っ直ぐに伸びる農道と防風林、広々とした野菜畑が特徴的な本地区では、砂質土壌で育まれた「ながいも」の、驚きの旨さが評判です。

お問い合わせ先  
「社団法人 屏風山野菜振興会」  
つがる市車力町屏風山 1-618  
電話:0173-56-2507

鬼楢地区

弘前市の北方に位置し、岩木山とりんご園が一面に広がる本地区では、大豆、小麦、アスパラガス、トマトなどの豊富な農産物が、減農薬で丹精に育まれています。

お問い合わせ先  
「農事組合法人 鬼楢営農組合」  
弘前市鬼沢字後田 49-2  
電話:0172-98-2860

健全な営農経営と確かな技術力で、未来の農業を担う  
鬼楢地区(青森県弘前市鬼沢)

鬼楢地区の概要

**地区範囲** 弘前市鬼楢地区一円  
**作付面積** 81ha  
**主な農産物** 水稻、大豆、小麦、枝豆、菜種、アスパラガス、ミニトマト  
**営農形態** りんごと水稻、転作による畑作利用の複合経営  
**地区の特色** 県内初の特定農業法人 鬼楢営農組合による、大型機械を活用した水田の一括管理



- 鬼楢地区 産地の高度化のための整備計画 -

「基本構想」

本地区では、これまで培ってきた経験を基礎として、更なる営農経営の健全化を図るとともに、新技術の習得、実需者との情報交換及び消費者との交流、農用地の有効活用、地域雇用の創出等を実践し、その取組みを広く情報公開することにより、農業の新たな可能性を探る。

「実施計画」

直販施設の整備

農作物生産拡大による雇用機会の創出、ニーズに応じた特産品の発掘を図る。

小麦、大豆の収量向上手法の検討

実需者が望む、小麦・大豆の増収を可能とする、作付手法の確立を目指す。

水田直播による飼料米の栽培

課題を有する農地に飼料米を作付し、耕作放棄地の未然防止を図る。

暗渠排水整備を目的とした新規事業の検討

新技術を可能とする事業への参入により、未整備地区の排水改良を図る。

鬼楢営農組合ホームページの開設

上記の取組内容を情報発信する機会を創出し、戦略的農業の推進を図る。

- 屏風山地区 産地の高度化のための整備計画 -

「基本構想」

本地区には、砂質・粘土質土壌から受ける、恩恵と不利が混在している。この恩恵(作物旨味の向上効果、行政等支援)の積極的な活用と、不利(排水不良、営農経費負担増)の克服を図ることで、実需者が望む高品質な農産物の安定供給を実現し、産地のブランド化と農業者所得の向上を目指す。

「実施計画」

改修事業導入を契機とした施設整備の推進

関係団体との連携により、着工となった県営施設整備事業の推進を図る。

県民を対象とした氷温野菜のPR活動を実施

実需者との連携により、「氷温野菜」の市場価値の更なる向上を図る。

麦等の作付によるブロックローテーションの検討

連作障害の回避を目的とした休耕地に麦等を作付し、所得の向上を図る。

消費者との交流活動の推進

収穫体験、直売所等での規格外品販売等を実施し、消費者との交流を図る。

県認証取得による屏風山野菜の付加価値の高揚

青森県特別栽培農産物認証制度の普及、産地ブランドの確立を目指す。



国内最大規模の氷温施設を活用して、凍結直前の状態で氷温貯蔵された「氷温ねぎ」「氷温にんにく」は、採れたての鮮度を保ちながら、旨みや甘みを向上させた、屏風山地区のブランド品として、首都圏や関西圏市場の高い評価を得ています。

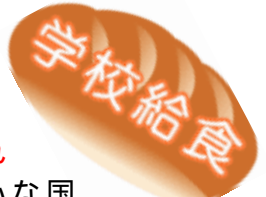


氷温ねぎの出荷作業(屏風山野菜振興会)



元気の基は、おいしい学校給食から

鬼楢地区の「ゆきちから(パン用小麦)」は、学校給食の食材として供されています。安全で安心な国産農産物を求める消費者ニーズが高まる中、鬼楢地区では、高品質な農産物を安定的に供給することを第一に、農業経営に取り組んでいます。



## 戦略的産地振興支援事業(実需者連携産地高度化調査)の趣旨

### ●背景

我が国の農業は、従来から立地条件や気候等の地域特性に応じた作物や栽培方法を取り入れた営農が行われてきたところであるが、近年は、基盤整備事業を契機に新規作物の導入や産地のブランド化の推進、生産から加工、販売の一貫体制による農産物の付加価値化を図るなど、地域の創意工夫を活かした「戦略的農業」の展開が期待されている。

一方、消費者の食に対する安全性志向の高まりにより、食品製造業者や加工・流通業者等の「実需者」は、安全で高品質かつ価格面でも輸入農産物の代替となりうる、国産農産物の安定的な確保を希求するようになってきている。

### ●目的

生産者と実需者が連携・協力して農業の振興に取り組むことが可能な地域において、実需者のニーズの把握、及びニーズに対応した農産物の供給に必要な基盤整備等の在り方の検討を行い、整備計画を策定するとともに、実需者と連携した産地の高度化を図り、戦略的農業を展開するための手法を取りまとめ、広く情報提供をする。

### ●効果

戦略的農業の推進により、我が国の地域農業の振興と農産物供給力の強化。

### ● 実需者ニーズと生産者の課題 ●

国内実需者及び屏風山、鬼檜両地区生産者を対象としたアンケート集計結果では、実需者は生産者に対して、農産物の「安定的な供給」を望む回答が最も多い(表1)。一方、生産者が抱える課題は、「営農経費負担」「販売価格の低迷」「労働力不足」が多数を占めた(表2、表3)。

この結果からは、生産コストの低減と省力化を図り、安定的な生産と経営を実現するための「戦略的農業」の推進が、地域農業の振興には有効であることがうかがわれる。

生産者が課題を克服し、実需者がニーズを満たすためには、何れか一方だけではなく、双方の連携による取り組みが期待される。

生産者に対する実需者のニーズ(表1)

屏風山地区 生産者の課題(表2)

鬼檜地区 生産者の課題(表3)

本印刷物に関するお問合せ先

●青森県土地改良事業団体連合会 〒030-0802 青森市本町二丁目6番19号 電話：017-723-2404